

【令和2年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業実績】

特定防衛施設周辺整備調整交付金が活用されています。

特定防衛施設周辺整備調整交付金は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、防衛施設周辺住民の生活環境や福祉等の向上のため、国から市町村に交付されます。本町におきましても、矢臼別演習場の一部を有することから毎年交付されています。令和2年度は1億6,838万3千円が交付され、下記のとおり活用されました。

令和2年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

(単位:千円)

事業名	事業費	左の内交付金額	事業内容等
資源物収集車購入	24,970	24,000	既存の資源物収集車は、車体の損傷が著しく、円滑な作業に支障をきたしていたため、車両1台を更新しました。
医療機器購入(浜中診療所)	15,015	14,000	疾病の早期発見・治療のほか、より行き届いた診療を可能にするため、電動診察台や電動シャワートローリー、超音波画像診断機等を購入し、安心、快適に利用できる環境を整備しました。
霧多布小学校暖房設備改修工事	39,873	38,000	霧多布小学校は築後38年が経過し、暖房設備の老朽化に伴う機能低下等により室温の確保が難しくなっていることから、このたび改修を行い、児童が安心して学習に専念できる環境を整備しました。
基金事業積立金 (保育所維持運営分)	110,346	56,383	令和2年度は、基金残高の内56,383千円を取り崩し、保育所の維持運営経費に充当しました。
基金事業積立金 (診療所維持運営分)	36,000	36,000	令和2年度は、基金残高の内36,000千円を取り崩し、診療所の維持運営経費に充当しました。